



右：イアン・ボストリッジ
© Ben Ealovega

左：ジュリアス・ドレイク
© Marco Boggreve

FOCUS

4.17 [木] イアン・ボストリッジ テノール・リサイタル 奇跡の歌声にふたたび出会う、待望のリサイタル！

文 関根哲也

イアン・ボストリッジといえば、2006年11月、水戸室内管弦楽団第66回定期演奏会でのブリテン〈セレナード〉の歌唱を思い出さずにはられません。長身から響く、独特の透き通った声。そして、その声とともに届けられる、そよ風のような優しさと高貴な詩情……。満場の聴衆は、ボストリッジの歌に魅了され尽くしました。そして、いつか、水戸芸術館でリサイタルをと、たくさんのお客様からリクエストをいただきました。

その待望のリサイタルが、いよいよこの春、実現します。

音楽界の“異端児”？

今でこそ、ボストリッジはクラシック界のスター歌手の一人として、揺るぎない名声を獲得していますが、その経歴はちょっと変わっています。

イギリスの名門オックスフォード大学に進学し、学者の道を歩んでいたボストリッジ。しかし、歌うことも大好きで、アマチュア的に演奏活動を続けていたそうです。そんなある日、小さなコンサートで客席にいたEMIのプロデューサーの目にとまります。そして、1990年代半ばから本格的な歌手としての活動がスタートします。95年には、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・フェスティバル松本のオペラ公演〈道楽者のなりゆき〉ゼレム役に抜擢されていますから、いかに

トントン拍子に世界的歌手へとこのぼり詰めていったかがわかります。

しかし、スター歌手の仲間入りをした現在も、ボストリッジの学者魂は健在です。2010年にはオックスフォード大学から名誉学士号を授与されるなど、研究活動は着実に続けられています。さすがは、現代最高の“知性派”テノール、ボストリッジですね！

マーラーとブリテン

ボストリッジは、今回のリサイタルで、前半にグスタフ・マーラー（1860～1911）の歌曲を、後半にベンジャミン・ブリテン（1913～1976）の歌曲を配しました。生没年を見ると、互いにすれ違うように生きた二人の作曲家ですから、直接の関係があったわけではありません。

しかし、マーラーが残した音楽と、その未亡人アルマの存在が、この二人の作曲家を結ぶ糸となります。ブリテンは、まだマーラーの音楽がさほど認められていなかった第二次世界大戦前に、その交響曲に接し、大きな感銘を受けています。戦後は、折にふれてマーラーの作品を指揮し、その音楽を深く愛していたようです。

一方、アルマは1942年、若きブリテンに会い、亡き夫が完成しえなかった交響曲〈第10番〉の補筆を依頼します。結局ブリテンは、その仕事には手を付け

ませんでした。1958年に完成させたオーケストラ伴奏付きの歌曲集〈ノクターン〉（昨年1月の西村悟独唱、大野和士指揮水戸室内管弦楽団の演奏が思い出されます）をアルマに捧げています。この〈ノクターン〉などは、このジャンルの可能性を大きく広げた先輩作曲家マーラーへの美しいオマージュとも言えるでしょう。

さて、ボストリッジはこの二人の歌曲をどのように歌うのでしょうか。芸術の分野でも様々な主義主張が渦巻いた近現代という時代を、「ロマンティック」に生き抜いたこの二人の音楽の関連性に、これまでにはない新しい光を当ててくれることでしょうか。どうぞ、お楽しみに。

イアン・ボストリッジ テノール・リサイタル

4/17 [木] 18:30 開場
19:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM
全席指定 一般 6,000円

ユース（25歳以下）2,000円

出演 イアン・ボストリッジ（テノール）
ジュリアス・ドレイク（ピアノ）

曲目

グスタフ・マーラー：

春の朝、つらなる想い（歌曲集〈若き日の歌〉より）
少年鼓手、美しいトランペットの鳴り渡るところ、
死んだ鼓手（歌曲集〈子どもの不思議な角笛〉より）
歌曲集〈さすらう若人の歌〉

ベンジャミン・ブリテン：

歌曲集〈ジョン・ダンの神聖なソネット〉作品35
サリー・ガーデンズ
おお悲しい
オリヴァー・クロムウェル

4.13 日 「茨城の名手・名歌手たち 第24回」出演者オーディション

茨城の若き演奏家たちによる、未来への挑戦！

文 高巢真樹

静かな緊張感漂うコンサートホール。5分間という限られた時間の中で、練習の成果を発揮する——才能豊かな演奏家を発掘しようと、水戸芸術館で開催している「茨城の名手・名歌手たち 第24回」出演者オーディション、今年は4月13日（日）に行います！1990年から継続して開催しており、茨城の音楽家の登竜門としても知られるこの企画。現在に至るまで、約300組の「名手・名歌手」たちがここから巣立ちました。県内外のさまざまな音楽シーンはもちろん、さらに世界の大舞台へ羽ばたくなど、素晴らしい「卒業生」たちの活躍ぶりは本当に頼

もしいかぎりです！

今年の審査対象部門は、管楽器、打楽器、声楽（以上ソロ）、そして器楽アンサンブル（2～5人）の4部門です。審査委員長を務める作曲家の池辺晋一郎氏（当館音楽部門企画運営顧問）と音楽評論家の三善清達氏が全部門の審査に携わるほか、管楽器は工藤重典氏（水戸室内管弦楽団フルート奏者）と梶原征剛氏、声楽は伊原直子氏と小泉恵子氏といった各分野のスペシャリストも加わり、厳正な審査を行います。

今回はどんな演奏家の卵があらわれて、10月11日（土）に行うコンサートの出

演枠を勝ちとるのでしょうか？オーディションは一般公開いたします（入場無料）。フレッシュな受験者たちの挑戦を、どうぞご覧ください。

「茨城の名手・名歌手たち 第24回」出演者オーディション

4/13 日 ※時間等、詳細は応募状況により後日決定

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

入場無料

募集部門：管楽器、打楽器、声楽（以上ソロ）、器楽アンサンブル（2～5人まで）

【審査委員】（敬称略・五十音順）

池辺晋一郎（審査委員長／水戸芸術館音楽部門企画運営顧問）、伊原直子（声楽）、梶原征剛（管楽器）、工藤重典（管楽器）、小泉恵子（声楽）、三善清達

最近の公演から

2014.2.2
アンサンブル奏 コンサート

日上市を中心に活動している「アンサンブル奏」が、2010年10月に続き、水戸芸術館では2回目のコンサートを開催した。“巴里の空の下で vol.2”というサブタイトルで、プーランク〈ノヴェレット〉、ドビュッシー〈小組曲〉、タファネル〈木管五重奏曲〉など、フランスの作曲家によるプログラムが組まれた。木管アンサンブルの洒脱さと愉しさが、日曜の午後のコンサートホールを満たした。アンコールは、岡野貞一（山本教生編曲）：〈日本の歌〉より。《関根》アンケートから■はじめて耳にする曲が多かったのですが、それぞれの楽器の音色の美しさがとても印象的なコンサートでした。（水戸市の方）■フランス音楽独特のリズムや和音が美しく、気持ちよく聴くことができ、良かったです。（常陸太田市の方）■メロディーといい、テンポといい、アンサンブルといい、本当に「楽しんで」いるなあと、それが観客の我々にもこれでもか！と伝わってきました。（水戸市の方）

2014.2.8
Coro la DIVA 2nd concert

メンバーひとりひとりが「歌姫」のようでありたいという願いと共に付けられた、茨城で活動する女声合唱団「Coro La DIVA」の第2回公演。常任指揮者の原田昌江さんの指揮で、近現代の宗教作品、〈木綿のハンカチーフ〉などの流行歌メドレー、ブラームスの〈愛の歌〉作品52が取り上げられた。また、藤井宏樹さんを客演指揮者に招き、寺嶋陸也の〈女の象〉、信長貴富編曲の〈近代日本名歌抄〉が披露された。ピアノ伴奏は、田中直子さん。《中村》アンケートから■ハーモニーの美しさに感動しました。レベルの高さをつくづく感じました。すいこまれるような時間をありがとう。（岩手県の方）■指揮者の原田先生の雰囲気がとても魅力的でした。歌っている皆さんお一人お一人も素敵ですね。藤井先生、とっても素敵でした。（水戸市の方）■すばらしい歌声に、感動のひとときをありがとうございました。荘厳な宗教曲、馴染みのある日本の曲など、構成にも変化があり、楽しみました。（小美玉市：N.F.さん）



2014.2.11

兼氏規雄 クラリネット・リサイタル

水戸を拠点に活躍中のクラリネット奏者、兼氏規雄さんによる「オール・ウェーバー・プログラム」の演奏会が開催された。前半は、兼氏さんが信頼を寄せるピアニスト、小坂圭太さんが登場。〈協奏的大二重奏曲〉などで、この二人ならではの刺激的な掛け合いが繰り広げられた。後半には水戸ゾリステン室内アンサンブルと〈クラリネット五重奏曲〉を演奏。多彩な表現を聴かせたクラリネットと、温かみのあるアンサンブルを披露した弦楽四重奏に、客席から大きな拍手が贈られた。アンコールはウェーバーの歌劇〈魔弾の射手〉よりアリア“静かに、清らかに”。《高嶺》

アンケートから■とても美しい音色にいやされました。本当に素晴らしいかったです。(鹿嶋市の方) ■あまりなじみのない曲で、新鮮で楽しいひとときを過ごすことができました。(水戸市の方) ■管楽器のよさを再認識しました。主役のすばらしさを感じました。(東海村の方) ■クラリネットを吹くにあたって音色や表現力などの勉強になりました。(水戸市の方)

2014.2.16

合唱セミナー 2014

講師：田中信昭

茨城県合唱連盟ほかとの共催により毎年実施している「合唱セミナー」。今年は、東京混声合唱団の創立者で、日本の合唱音楽界の重鎮ともいえる田中信昭氏を講師にお迎えしました(ピアノは小林由佳氏)。水戸芸術館で「合唱セミナー」を始めて15年余、待望のご登壇と言ってよく、開始前の会場は心地よい緊張感に包まれていました。講習曲は、柴田南雄：〈水上〉、林光(編曲)：〈待ちぼうけ〉のほか、モデル合唱団を起用したモンテヴェルディ：〈波はささやき〉、モーツァルト：〈アヴェ・ヴェルム・コルプス〉(以上、あひる会合唱団)、三善晃：〈月夜の浜辺〉(水戸第二高等学校コーラス部/コール・ヴィステリー)、間宮芳生：〈合唱のためのコンポジション 第1番〉より(KVアンサンブル)。田中氏は、その場で一人で歌わせたり、「音程は足の裏でとる」「指揮は見なくて感じればよい」など独自の表現でアドヴァイスしたりと、相変わらずの厳しくもユーモアあふれるご指導ぶり。参加者一人一人に、問題に真摯に取り組み、それを克服したところにある合唱の本

当の“愉しさ”を、あらためて気づかせてくれました。《関根》

2014.2.26 - 28

中学生のための音楽鑑賞会

2014.2.28

ちょっとお昼にクラシック

佐藤俊介&鈴木優人

水戸芸術館専属楽団「新ダヴィッド同盟」のメンバーで、国際的に活躍するヴァイオリニスト佐藤俊介さんと、佐藤さんの音楽仲間、ピアノ、チェンバロ、オルガンなど様々な楽器を弾きこなす多才な鍵盤奏者、鈴木優人さんによる「中学生のための音楽鑑賞会」が、3日間(5公演)にわたり開催された。招かれたのは、水戸市立中学校全16校のほか、市内にある私立や国立の学校も含む中学1年生、約2800名。佐藤さんと鈴木さんは、ステージと客席の間に存在する見えない壁を取り払うかのように、親しみやすい口調で中学生に語りかけ、曲や楽器について紹介していった。モダンとバロックの両ヴァイオリン、またピアノとチェンバロの比較(バルトーク〈ルーマニア民俗舞曲〉)、J.S.バッハノグノー(アヴェ・マリア)、ヴァイオリンの超絶技巧の紹介(サラサーテ〈ツイゴイネルワイゼン〉)、プリバード・ピアノの実演(ケージ〈Our Spring Will Come〉)などは、特に中学生の心をひきつけていた。最後は、佐藤さんも鈴木さんもエントランスホールに出て、バッハ〈小フーガト短調〉の演奏(鈴木優人)で館を後にする中学生たちを見送った。

28日の午後は、中学生公演とほぼ同じ内容で、一般のお客様を対象に「ちょっとお昼にクラシック」を開催。「大人でも楽しめる」と大好評だった。《関根》

一般公演のアンケートから■幅広い内容で、とても楽しめました。お二人のファンになりました。息の合った演奏とトーク、素晴らしいかったです。(石岡市の方) ■とても時間が短く感じました。(水戸市の方) ■素晴らしい音楽家お二人の演奏と解説を授業の一環として聴ける水戸の中学生が心底うらやましいです。(東京都の方) ■今回は「新ダヴィッド同盟」のメンバーのお一人と、オールラウンドな鈴木氏とのコラボで、大変すばらしいと思います。舞台上並ぶ鍵盤楽器3台の姿も圧巻でした。(水戸市の方) ■中学生のみならず、大人でも楽しく学ぶことができ良かった。(ひたちなか市の方)

最近の公演から



1：アンサンブル奏
2：Coro la DIVA 2nd concert
3：兼氏規雄 クラリネット・リサイタル
4-5：合唱セミナー 2014
6-7：中学生のための音楽鑑賞会
8-9：ちょっとお昼にクラシック 佐藤俊介 & 鈴木優人

ユースチケットのご案内

25歳以下の方を対象に、割引料金で演奏会にご入場いただける「ユースチケット」制度を導入しました。平成26年4月以降の指定公演でご利用できます。小学生以上の若人の皆さん、どうぞコンサートホールにご来場ください！

茨城県の演奏家による演奏会企画を募集します。

平成27年度の茨城の演奏家による演奏会企画を下記の要領で募集いたします。

【応募要項請求方法】

- ①水戸芸術館エントランスホール・チケットカウンターにて直接入手
- ②80円切手を貼付し返信先を記入した封筒を同封の上、下記宛て郵送
- ③水戸芸術館ホームページ [http://artowemito.or.jp/] よりダウンロード

【応募対象】個人：イ）茨城に本籍を有する

- ロ）現在、茨城県内に居住している
- ハ）現在、茨城県内に通勤、通学している（週に4日以上）
- ニ）過去において茨城県内に居住・通勤・通学したことがある

団体：茨城県を中心に活動されている団体

※ただし、平成25、26年度の「茨城の演奏家による演奏会企画」にご出演された方はご応募できません。

【受付期間】2014年5月13日（火）～6月12日（木）[当日必着]

【開催時期】平成27年度（2015年4月～2016年3月）

【提出資料】

- ①所定の申込用紙
- ②これまでの演奏歴を示す資料（演奏会チラシ等）
- ③住民票の写し
- ④2013年6月1日以降の演奏のデモ音源
- ⑤返信用封筒一部（80円切手を貼付し、本人の住所・氏名を明記すること）

【お問い合わせ】〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

水戸芸術館 音楽部門「演奏会企画」係
TEL.029-227-8118 / FAX.029-227-8130 (担当：中村)

水戸芸術館の主な4月のスケジュール

コンサートホール ATM

■「茨城の名手・名歌手たち 第24回」出演者オーディション

4/13（日）時間未定（3月下旬頃決定） 入場無料

■イアン・ポストリッジ テノール・リサイタル

4/17（木）19:00 開演

料金 [全席指定] 一般 ¥6,000 / ユース (25歳以下) ¥2,000

エントランスホール

■パイプオルガン・プロムナード・コンサート

4/6（日）千田寧子、19（土）木村理佐、26（土）井上紗和子

各日 12:00～ / 13:30～（各回30分程度） 入場無料

ACM 劇場

■未来サポートプロジェクト Vol.2 津軽三味線 はなわちえの世界

4/12（土）14:00 開演

料金 [全席指定] S席 ¥3,000 / A席 ¥2,500 / B席 ¥2,000

■野村万作抄 21 『二人名』『悪太郎』

4/19（土）18:00 開演

料金 [全席指定] S席 ¥5,000 / A席 ¥4,500 / B席 ¥3,500

現代美術ギャラリー

■拡張するファッション

2/22（土）～5/18（日）9:30～18:00 ※入場は17:30まで

[休館日] 月曜日 ※ただし5/5（月・祝）は開館

[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体（20名以上）¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■高校生ウィーク2014

3/9（日）～4/6（日）※入場は17:30まで

[カフェ開場時間]（火・金）15:00～18:00 /（土日・祝）13:00～18:00

[カフェ会場] ギャラリー内ワークショップ室【無料招待対象】高校生または15歳～18歳の方

※学生証または年齢がわかる証明書をご提示ください。

茨城の主な4月の演奏会

■佐川文庫 TEL / 029(309)5020

久保陽子・弘中孝 ジョイント・コンサート 4/26（土）18:00 開演

■日立ビックセンター（音楽ホール） TEL / 0294(24)7720

DUO 坂口大介・太田友香 ジョイントコンサート 4/6（日）14:00 開演

第24回ひたち出身者によるコンサート 音楽の園 4/29（火・祝）14:00 開演

チケット・インフォメーション

《3月29日(土) 発売分》

■水戸室内管弦楽団 第90回定期演奏会（第2部指揮：小澤征爾）

5/23（金）19:00 開演、5/25（日）14:00 開演

料金 [全席指定] S席 ¥15,000 / A席 ¥12,500 / B席 ¥10,000

※上記公演には、3/25（火）より財団運営維持会員、3/26（水）より友の会（一般、法人）会員の先行電話予約がありますので、3/29（土）の一般発売の時点で、公演日や券種によってはお客様の希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

※発売初日に芸術館でお求めになれるチケットは、上記公演では、お1人様1回につき2枚までとさせていただきます。

《4月9日(水) 発売分》

■水戸室内管弦楽団 川崎公演 会場：ミュゼザ川崎 シンフォニーホール

5/27（火）19:00 開演

料金 [全席指定] S席 ¥15,000 / A席 ¥12,500 / B席 ¥10,000

チケット問い合わせ：044-520-0200（10:00～18:00）

※川崎公演のチケットは水戸芸術館チケット予約センターでは取り扱いたしません。

これからの演奏会・残席情報

○…残席あり（20席以上） △…残席わずか（20席未満） ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎柴草幹男 フルート・リサイタル……………3/16（日）自由席○

◎ちょっとお昼にクラシック 森 麻季（ソプラノ）……………3/22（土）売売

◎ Duo la Bilancia ピアノデュオ・リサイタル……………3/30（日）自由席○

◎イアン・ポストリッジ テノール・リサイタル……………4/17（木）中央○、左右○

◎トルヴェール・クワルテット……………5/11（日）中央△、左右○

※3/5（水）現在の状況です。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間：9:30～18:00（月曜休館）

公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://artowemito.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall_ATM

編集後記

房 総を暴走。そんな冗談が頭に浮かんだのは、ドライブ小旅行を計画中だから。イチゴを食べて、お花畑に囲まれて、海の幸を食べて、温泉に浸かって…夢はひろがります。願わくは、天気が良好でありますように。(り)

す こぶる健康は私の自慢。最後の発熱は2003年。なめていた。人生初のインフルエンザをがちりキヤッチ。「痛いよー」と叫びながら湯たんぽを抱える。完全に免疫力の衰えだ。悔しいが来年はワクチンで備えよう。(og)

「ちょっとお昼にクラシック」でケーのプリバード・ピアノ作品が演奏された。ケーはピアノの弦のどこに何を挟むかを細かく決めている。ピアノの中に雪を入れたこともあったらしい。後始末は大変だっただろう。(篠)

映画「ラッシュ」を見た。どうも女性陣は奔放なジェイムス・ハントに惹かれるらしいが、私には断然ニキ・ラウダの堅実な仕事ぶりが光った。さて、今季F1はどうなるかな。減法詳しい(り)さんと雑誌に花が咲く。(て)

美しい小説のような『バリ左岸のピアノ工房』（カーハート著）。裏町の小さなアトリエでピアノを魔法のように再生させる若き職人や、古今東西の個性的なピアノの数々…読めばきっと鍵盤にふれてみたくなる一冊。(樹)

そろそろ鼻がムズムズする季節になってきた。自分も「花粉症」では？と薄々感じているが認めたくない状況が数年前から起こっている。「信じない者は救われる」という思いを今年も貫き通せるだろうか？(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ] 2014年4月発行 第186号
編集発行：水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130
E-MAIL ankmr@artowemito.or.jp
URL <http://artowemito.or.jp/>
編集：水戸芸術館音楽部門（五十音順） / 石井亮子
大金絢子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃
デザイン：大金絢子
印刷所：山三印刷株式会社